

2025年3月6日

各 位

株式会社 大垣共立銀行

中部電力ミライズとの「オフサイトPPAサービス契約」の締結
～“OKBソーラーパーク養老”の設置・“CO₂排出量削減目標”の引き上げ～



大垣共立銀行（頭取 林 敬治）は本日、中部電力ミライズ株式会社（代表取締役 神谷 泰範）と「オフサイトPPA（※1）サービス契約」を締結しました。

これは、OKB大垣共立銀行が岐阜県養老町に所有する遊休地に太陽光発電所「OKBソーラーパーク養老」を設置し、そこで発電された電力を中部電力ミライズを通じてOKBの本店ビルなどへ供給することにより、カーボンニュートラルに向けた取り組みを加速させるものです。

OKBソーラーパーク養老は2026年3月の稼働を予定し、その電力供給を受けることで、OKBはCO₂排出量を年間約800t（本店ビルの電力使用に伴うCO₂排出量の約半分）削減可能となります。これにより、OKBグループはサステナビリティ長期KPIで設定している2030年度のCO₂排出量（※2）削減目標の達成に目途が立ったことから、その目標値を2013年度比▲50%から▲75%へと引き上げ、2050年度のカーボンニュートラル達成を目指します。

OKB大垣共立銀行はこれからも、再生可能エネルギーの地産地消を推進するとともに、お客さまへの脱炭素サポートやサステナブルファイナンスなどの提供を通じて、地域の脱炭素化に貢献してまいります。

（※1）「Power Purchase Agreement（電力購入契約）」の略で、敷地外の遠隔地に設置された発電設備から電力を購入すること

（※2）Scope 1（ガソリンなどの燃料使用に伴い直接的に発生するCO₂排出量）およびScope 2（他社から供給された電気などを使用することにより間接的に発生するCO₂排出量）に該当するCO₂排出量

記

■オフサイトPPAサービスのイメージ



以上



■「OKBソーラーパーク養老」の概要

設置場所	岐阜県養老郡養老町若宮地内
設置者	中部電力株式会社
運転開始時期	2026年3月（予定）
パネル容量	1,695kW
発電量	約190万kWh/年
CO ₂ 削減量	約800t/年

■CO₂排出量削減目標（OKBグループ）の引き上げ

現 状	2030年度までに 50%削減 （2013年度比） 2050年度までにカーボンニュートラル達成
引き上げ後	2030年度までに 75%削減 （2013年度比） 2050年度までにカーボンニュートラル達成

以上